

渡良瀬川流域治水プロジェクト【位置図】

～地方都市の生活を支える抜本的な治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み『地方都市のまちづくりと一体となった、賑わい、美しい景観、豊かな自然環境を備えた水辺空間の創出』

- 渡良瀬川の自然環境は、長い年月をかけ、渓谷、湿地、礫河原、ヨシ原等の多様な環境を形成してきました。また、高水敷にはグラウンド、公園、ゴルフ場等が多く、散策やスポーツに広く利用されています。近年、レクリエーション空間の確保、自然環境の保全等の河川環境に対するニーズが高まり、かつ多様化しています。
- 新とうちぎ観光立県戦略では観光客入込数が2025年に現状値を上回ることを目指しております。栃木県の目標に寄与できるよう、概ね2024年までに足利市のかわまちづくり（岩井地区・五十部地区）をはじめ流域の拠点となる箇所で取組みを進めるなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

渡良瀬川流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～地方都市の生活を支える抜本的な治水対策の推進～

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
グリーンインフラの取組	礫河原保全・再生 瀬淵保全・再生 ヨシ、オギ群落保全 湿地保全・再生 浅水域保全・再生 ハリエンジュ等樹林化対策による 多様な生息・生育環境の創出 生物の多様な生育環境、河川景観の保全・創出	国・県			
	特徴的植物保全・再生	国			
	山腹工による緑の基盤再生 植樹による緑化 多面的機能(生物多様性保全、水源かん養、土砂災害防止など)を発揮する森林の維持・造成	国・森林整備センター・県			
	かわまちづくり(足利市)	国・市			
	水辺の楽校による環境学習	国			
	地域のニーズを踏まえた賑わいのある 水辺空間創出への連携・支援	国			

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

